

浦添市てだこ市民大学雑記帳 第18号

2017年5月発行

梅雨明けが待ち遠しい季節となりました。てだこ市民大学では、新しく9期生11名を迎え、平成29年度をスタートしました。1年生は市民大学での学びに期待を膨らませ、これからの学習へ意欲も高まり、2年生は各学部に分かれての講座が始まり、より専門性をもって地域に貢献できるよう日々励んでいます。

今年度最初のとだこ市民大学雑記帳では、入学式の様子や卒業生のインタビュー、学部の紹介をしたいと思います。

❀第9期生 入学式❀

去る4月21日(金)「浦添市てだこ市民大学」の入学式が開催され、熱い思いを胸に、1学部11名の新生が入学しました。

松本哲治学長より「まずは、ご自身の目標に向かって学び、その中で何か地域に繋がることがないか、探してみてもいいでしょうか」とアドバイスを頂き、「多くの学びを通し充実した学生生活をおくれますよう祈念します」と激励のことばも頂きました。



緊張した様子の
新入学生

来賓の皆さんと一枚📷



新生代表挨拶では、期待と不安の入り混じった心境や今後の大学での学びを大いに楽しみにしていることを話してくれました。在校生代表挨拶では、てだこ市民大学のポリシーやこれまでの活動について伝え、一緒にこれから学んでいく新生に激励のことばをかけていました。

また入学式当日は、島尻市議会議長をはじめ、多くの関係者の方々が新生の激励にかけつけてくださいました。



2年次の湧き水めぐり



1年次市長講話



熱心に講師の話
聞いています！

卒業生インタビュー Vol.1

このコーナーでは、毎号卒業生にインタビューを行い、卒業後の活動やてだこ市民大学での学びが、まちづくりにどのように生かされているのかお伝えしていきます。第1回目は、1期生の比嘉鉦由さんと佐久川正健さんです。



健康福祉・スポーツ振興学部卒
比嘉 鉦由さん(1期生)

Q. 入学の動機を教えてください📝

A. 定年を迎え自身を振り返ると「浦添のことを知らない」と思った。その時期にてだこ市民大学の開学を知り、特に歴史が好きだったので学びたかった。しかしパンフレットを見て健康福祉・スポーツ振興学部を知り、スポーツと福祉をどう結び付けられるのか?と思い、入学した。

Q. 市民大学で学んだことが現在の活動にどう生かされていますか?👤

A. 卒業後、自治会長を6年務めたが、市民大学で学んだことが大いに生かされた!福祉とスポーツの結びつきで、生涯スポーツとチャンピオンスポーツ(競技スポーツ)を分けて考え、年齢別のスポーツの楽しみ方を自治会でできたことがとてもよかった。

Q. ぜひ伝えたいこと🗣️

A. 60過ぎたら地域貢献!!ぜひ市民大学に入って、自己啓発し地域にかかわってみてください!



コミュニティビジネス・地域振興学部卒
佐久川 正健さん(1期生)

Q. 入学の動機を教えてください📝

A. 自治会長として人材養成のため、てだこ市民大学に地域の人を送り出したかったが、その前にまず自分が経験し、次の自治会を背負う人材育成に生かしたかったから。

Q. 市民大学で学んだことが現在の活動にどう生かされていますか?👤

A. 市民大学で学んで良かった。学部の講座も面白く、企業についても学ぶことができた。自治会は人材不足という課題があるが、自治会に協力してもらえる企業やつながりを知れたことが特によかった。

Q. ぜひ伝えたいこと🗣️

A. 自治会をもっと活性化したい!また、公民館を利用して何かビジネスができないかと考えている。



学部紹介

「市民大学ってどんなところ?」「どんなことを学んでいるの?」今回は1期生の比嘉さんが学んでいた「健康福祉・スポーツ振興学部」について紹介します!

健康福祉・スポーツ振興学部

健康福祉・スポーツの分野を専門的に学習し、市民の健康増進、福祉の向上、生涯スポーツの振興に寄与する地域のキーパーソンを育成する学部です。講座では、ミニランポリンを活用した講座や、福祉実践活動等も取り入れています。

～問い合わせ先～ 浦添市教育委員会 生涯学習振興課 浦添市てだこ市民大学事務局
電話098-876-1234 (内線6064)
Mail:syogaku@city.urasoe.lg.jp 浦添市 (HP) : <http://www.city.urasoe.lg.jp/>

